

平成28年 箱根町成人式

〜新たな門出を祝って〜

1月11日、箱根ホテル小涌園で『∞(ムゲンダイ)』をキャッチフレーズに、町成人式が開催されました。
新成人151人が晴れて大人の仲間入りをし、新しい第一歩を力強く踏み出しました。
式典では山口昇土町長、町教育委員会勝俣正志委員長、来賓を代表して町議会沖津弘幸議長からそれぞれ祝辞がありました。
また、新成人を代表し、森一生さん(仙石原)から成人となった抱負や地域の方々への感謝の想いなどが発表されました。
式典終了後には、祝いに駆けつけた恩師や来賓の方々、町の関係者らが見守る中、成人式実行委員会の企画・運営で、交流

会「果てしなき未来の先に」が行われました。
今回は、「20歳になってやりたいこと」や「今の夢・昔の夢」などについて、新成人にインタビューし、そのやりとりに会場は大いに盛り上がりました。
久しぶりに再会した同級生はもちろんのこと、恩師の方々も一緒になって、大変和やかな雰囲気の中で実施されました。
これからの人生に無限の可能性を秘める新成人の皆さんが、思い出話や近況報告などに花を咲かせるとともに、将来の夢を語り合う姿が印象的でした。
この日の思い出、決意、夢を胸に果てしない未来の先へ歩んでいってください。

成人式実行委員に聞きました！

質問内容／ ○成人式を終えて ○20歳を迎え、いまやってみたいこと ○お世話になった人へ



勝俣加世さん(仙石原)

○久しぶりに会えた人々がたくさんいて、交流会ではすぐに打ち解けてくれ、盛り上がったので嬉しかった。
○実行委員をきっかけに、もっといろいろなことに挑戦したい。
○家族一同へ。私を二十歳まで育ててくれたことに対し感謝しかない。



宮澤庸介さん(強羅)

○私たちの成人式のために多くの皆さんが集まってくださり、思い出に残る式になってよかった。
○海外に行くことで、今自分が持つ価値観だけでなく、様々な人々の価値観を学んで視野を広げたい。
○両親へ。大学に通い、一人暮らしをさせてもらい、何不自由ない生活を送れていることに感謝しかない。



渡辺 智さん(大平台)

○中学校の時に戻れたような気持ちになり、よかった。
○海外へ行き、バンジージャンプをやりたい。
○友人へ。仕事でストレスが溜まったとしても、遊びに付き合ってくれる仲間がいるから社会人として働き続けられるので感謝している。



勝俣咲希さん(仙石原)

○中学校卒業以来の友人もたくさんいたので、懐かしい話ができ、楽しかった。
○自分がギブアップするまでお酒を飲みたい。
○両親へ。反抗もしてきたが、甘えてきた部分もあるので、感謝している。



齋藤 翼さん(仙石原)

○懐かしい人々に会えて楽しく、嬉しかった。
○いろいろなところに行き、美味しいものを食べたり、きれいなものを見たりしたい。
○両親へ。いつも優しく接してくれ、落ち込んでいる時、励ましてくれることに感謝している。



勝俣尚悟さん(仙石原)

○交流会の冒頭から飛ばしすぎ、疲れたが、皆が楽しんでくれ、会が盛り上がりよかった。
○たのしく暮らしたい。
○両親へ。専門学校の学費は高いにもかかわらず出してくれ、いろいろお世話になっているので感謝している。

メッセージ
教え子たちへ



漆谷先生(真ん中)

「ぜひ箱根を背負って立つ大人になってください！」

羽入田先生(左)

「成長した皆さんに会えて嬉しかったです！」

日野先生(右)

「カッコいい大人になってください！」



菊地聡子さん(宮城野)

○久々に会えた人々もいて楽しかった。交流会も良かった。
○免許を取得したので運転したい。まずは箱根から。
○両親へ。悩んでいる時すぐに相談に乗ってくれ、話し合ってくれることに感謝している。



小宮山芽依さん(小涌谷)

○中学卒業以来、皆が揃い、懐かしい思い出がよみがえり楽しかった。恩師にも会えたのでよかった。
○一人で海外旅行に行きたい。特にアメリカ(NBAの試合を観戦したい。)
○両親へ。いまの自分がいるのは、普段は口を挟まず見守ってくれ、困っている時には助けてくれた両親のおかげなので感謝している。



森 一生さん(仙石原)

○自分が小さいころに思い描いていた二十歳の理想像とは違うが、これから理想の大人に近づけるように頑張ろうと思った。
○いろいろな国に行つて刺激を受けたい。
○両親へ。いまの自分がいるのは、中学の辛い時に支えてくれた両親のおかげなので感謝している。

